

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

クラシック音楽

日本に来て驚いたことがあります。それはベートーヴェンの第九（歓喜の歌）の人気の高さです。ドイツ人のベートーヴェンはドイツでもよく知られていますが、ベートーヴェンと言えば交響曲第5番か「エリーゼのために」のピアノ曲を思い浮かびます。日本の年末によく歌われる第九は新世紀エヴァンゲリオンというアニメと欧州の歌のメロディーとしてしか出会ったことがなく、アニメのおかげで歌詞を覚えられましたが、クラシック音楽に興味のない一般のドイツ人は歌詞まで知っているかどうかは不明です。

そうは言ってもドイツではクラシック音楽が身近なもので、聞く機会がたくさんあります。例えば夏になるとミュンヘン市中心部で、「オデオン広場でクラシック」という野外コンサートが開かれます。毎年16万人がこの特別な演奏を聞きに集まり、町もライトアップされ、素晴らしい雰囲気になります。若者にも大人気です



ドイツ南西部のネッカー川沿いにある町ハイデルベルクの→
ストリート・ミュージシャン

大きなイベント以外にもクラシック音楽を聞くチャンスがたくさんあります。音楽を学んだ学生の卒業演奏やコンクールなどは、無料で聞くこともでき、クラシック音楽を演奏しているストリート・ミュージシャンもよく見かけます。ミュンヘンの中心部にあるマリエンプラッツにはいつでもストリート・ミュージシャンがいます。しかし、演奏するには許可が必要なため、毎朝ミュージシャンたちはマリエンプラッツにある市役所に行きオーディションを受けなければなりません。ドイツにも早起きは三文の徳ということわざがあります。直訳すると「早起きの鳥は虫を捕まえる」(Der frühe Vogel fängt den Wurm デア フリュエ フォーゲル ファングト デンヴルム)になります。ストリート・ミュージシャンの免許も同じで、朝8時から順番に認可証が10枚出されるのです。



←フランクフルトのストリート・ミュージシャン

Der frühe Vogel
fängt den Wurm!

デア フリュエ フォーゲル
ファングト デンヴルム
(早起きは三文の徳)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👨‍🍳 クックパッド：沼田市のキッチン